

# 斜面防災対策技術

## フォーラム'11 in 富山

開催日

平成23年 10月6日 木

開催場

富山市富山第一ホテル  
(富山市桜木町10-10、TEL:076-442-4411)

10/6  
thu

### 「斜面防災対策技術フォーラム'11」 in 富山

10時～

10:00 ● 開会

10:20 ● 技術発表会

発表者: 全国の協会会員技術者20名が発表  
発表課題: 「地すべり発生機構」「斜面崩壊調査」  
「雪崩」「地震災害関連」

14:50 ● 特別討論会

【裏面を参照】

テーマ「東日本大震災から学ぶ」

～災害はいつか必ずやってくる。待ってはくれないのが自然災害である～

16:15 ● 特別講演

演題「列島強靱化」における  
日本海側諸都市の役割

講師 京都大学大学院工学研究科 藤井聡 教授

17:45 ● 閉会

18:10 ● 技術交流意見交換会

特別討論会 特別講演

一般参加者募集!

講師  
紹介



藤井 聡 【ふじい さとし】

京都大学土木工学科卒、同大助手、助  
教授、東京工業大学助教授、教授を経て、  
09年より京都大学教授。専門は土木計  
画学、交通工学公共政策のための心理学。

参加料  
無料

定員  
100名

先着順

10/7  
fri

8時～ ● 現地見学会

1日コース

立山砂防カルデラ工事現場…80名

半日コース

氷見地すべり現場…40名

申し込み期間は終了いたしました。

\*なお、当日雨天の場合、1日コースは五箇山世界遺産コースとなります。

■主催 / (社)斜面防災対策技術協会 (社)斜面防災対策技術協会富山県支部

■後援 / 国土交通省北陸地方整備局 林野庁中部森林管理局 富山県 (財)砂防・地すべり技術センター (社)日本地すべり学会  
全国地すべり防止工事士会 富山県治水砂防協会

問い合わせ先

(社)斜面防災対策技術協会富山県支部事務局 Tel.076-442-3775

## 特別討論会

### テーマ「東日本大震災から学ぶ」

～災害はいつか必ずやって来る。待ってはくれないのが自然災害である～

我が国は、地震の発生件数及び活火山の数がともに世界の約一割を占め、有数の地震国、火山国です。近年は1995年の阪神大震災、2006年の中越地震、そして、今年の3.11東日本大震災などの地震災害が頻発、また、1977北海道の有珠山、1986年の伊豆大島の三原山、1991年の雲仙普賢岳、昨年からの新燃岳などの火山噴火による災害が多発しています。

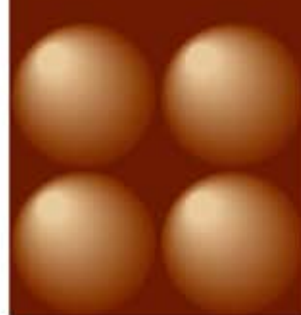
一方、日本列島は国土の3/4が山地であり、中央を急峻の山脈が縦断、地質も脆弱で多くの活断層が存在しています。このため、地球の温暖化と見られる異常気象の影響で、時間100mmを超える局地的なゲリラ豪雨などにより、洪水・土砂災害が多発しています。

身近な富山県内では、1858年の跡津川断層の活動により発生した「安政の飛越地震」では常願寺川の立山カルデラ内で大崩壊が発生、その後、崩壊により出現した天然ダムが2回に亘り決壊、富山平野に甚大な被害を与えた災害があります。また、富山県の中央部を縦断する「呉羽山断層」は富山湾まで伸びており、活動の可能性が高い活断層として、注目視されています。一方、豪雨災害では、記憶に新しいところで2008年7月に発生した「南砺市豪雨災害」では時間120mm以上と言う集中豪雨により、大きな被害を受けています。

これらの自然災害に伴って発生する土砂災害には土石流、地すべり、がけ崩れなどがあり、これまでに多くの人命・財産が奪われるなど、年々、その災害の発生件数が増加する傾向にあります。

このように多発する土砂災害から、国民の生命と財産を守るため様々な防災施設の整備が公共事業として進められています。しかし、土砂災害の危険箇所数は多く、その対策には多くの費用と時間がかかることも事実です。

今回の特別討論では、まず、東日本大震災によって発生した災害の被災状況や復興・復興に向けた取り組みなどの現状と課題を整理します。そして、富山県の活断層や災害対策の現状を中心に、今後、防災・減災に向けた対策を効果的に行うためには、「産、官、学、民」のそれぞれの立場から、地域性を十分に踏まえ、どのような取り組みが必要かソフト・ハードの両面から討論を行い、「防災・減災に向けた提言」を行います。



## パネラー紹介



富山大学大学院  
理工学研究部教授

竹内 章 氏



国土交通省砂防部  
保全課長

大野宏之 氏



立山砂防女性サロンの会アドバイザー  
(オフィス吉友代表)  
富山県芸術文化アドバイザー

吉友嘉久子 氏



斜面防災対策技術協会  
富山県支部長

村尾于尹 氏